

7 はてな???

どこにいるのかな

①



②



③



④



上の写真の中の昆虫

- ①クロコノマチョウ
- ②ショウリョウバッタモドキ
- ③マダラアシゾウムシ
- ④トゲナナフシ(カマキリに近い種類)

何かな

①



②



③



④



⑤



上の何かなの写真の説明

- ① ウスタビガのまゆ
- ② ビロードハマキ(ガ成虫)
- ③ ヌルデミミフシ(虫こぶ)
- ④ ドロバチの巣
- ⑤ オオカマキリの卵囊(らんのう
=卵がつまった袋のようなもの)

ハチはどれかな

①



②



③



④



⑤



⑥



ガはどれかな

①



②



③



④



⑤



ハチはどれかな？

答えは、③ジガバチです。

その他は次のとおりです。

- ① ナミホシヒラタアブ(ハエ目)
- ② カノコガ(チョウ目 ガ)
- ④ ベッコウガガンボ(ハエ目)
- ⑤ ヤマトシリアゲムシ(シリアゲムシ目)
- ⑥ アシブトハナアブ(ハエ目)

ガはどれかな？

の答えは、④キンモンガです。

その他はチョウで、次のとおりです。

- ① ヒメウラナミジャノメ
- ② テングチョウ
- ③ ムラサキシジミ
- ⑤ ダイミョウセセリ

「チョウ」の触覚と「ガ」の触覚のちがいは、

チョウの触覚(しよっかく)は長くて、先にふくらみがあります。

ガの触覚は短く、先にふくらみがありません。



「生物多様性」とは・・・・・・・・

今、地球上には、分かっているだけで約175万種の生き物がすんでいます。未だ発見されていないものも含めると、3,000万種にもなるといわれています。また、生き物は森や川、草原、砂地、海などさまざまな環境の中で、お互いに支え合い、競争しながらバランスを保って生きています。たくさんの種類の生き物が複雑に関わり合い、さまざまな環境に合わせて生活していることを生物多様性といいます。

8 まめ知識(料理に使う昆虫もいるよ)

日本で食用にされてきた昆虫の主なものは、ザザムシ(カワゲラ、トビケラなどの幼虫)、クロスズメバチの幼虫、イナゴなどです。全国的に共通し、一般的なものはイナゴです。イナゴにはハネナガイナゴとコバネイナゴがあります。たくさんいるのはコバネイナゴです。

イナゴの食べ物はイネ科の植物。その主なものはイネです。昔はものすごくたくさんいた昆虫ですが、害虫退治に農薬(のうやく)が使われるようになってからは少なくなりました。最近はまだ増えてきて、昔ほどではありませんが、ならやまでもたくさん見られるようになっていきます。

イナゴの食べ方としては、佃煮(つくだに)または甘露煮(かんろに)が一般的です。

地球上の人口が、ものすごく増加することが予想されていますので、国連(こくれん)の農業食糧機関(のうぎょうしょくりょうきかん=FAO)で、昆虫を食糧にすることが話し合われています。

コバネイナゴ



イナゴに次いでよく食べられている昆虫は、ザザムシ(トビケラ、カワゲラ等の幼虫)と、クロスズメバチの幼虫(ハチノコ)で、ザザムシは長野県(ながの)の天竜川(てんりゅうがわ)上流域(じょうりゅういき)、クロスズメバチの幼虫は長野県、岐阜県、愛知県、静岡県などの山間部を中心に、かなり広い地域で食用にされています。カイコの糸を取った後のさなぎも食用にされていたようです。そのほか、セミもかなり食べられているようです。